

# 自己点検・自己評価報告書

2022年5月1日現在

エール学園

応用日本語学科・国際ビジネス学科・国際コミュニケーション学科

2022年7月1日作成

## 教育目標と本年度の重点目標の評価成果

学校の教育理念・目標	2021年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>■なりたい自分</p> <p>・教職員が与えられた人生の役割に生きるために、教職員の強みを把握して意欲を高めて成果を得る。まず教職員が生き方の姿勢を示したうえで学生たちに学園の「なりたい自分」の理念を伝える。</p> <p>■つくす自分</p> <p>・グローバルな世界で学園の強みを使命として自覚し、教職員・学生が顧客や地域を支援できる学園となる。そして「つくす自分」の理念を実践することによって学園全体の意欲を醸成して成果を得る</p>	<p>●時代の変化に対応するため、教職員は学生の夢の実現を実践するとともに、メンタリングシステムの深堀とベトナムの大学との教育連携の強化と新専門学校での立ち上げの支援を行う。</p> <p>■なりたい自分。</p> <p>・東大・京大・阪大に10名の合格者、国公立に80名の合格者を出す。上場企業に20名就職させる。</p> <p>・メンタリングシステム特に週間テストとYPM指標を活用して日本語力を強化する。</p> <p>・新専門学校設立準備を進める。</p> <p>●グローバルな世界で学園の強みを活かして、国内外の顧客や地域との関係性を豊かにしてブランド力を上げる。</p> <p>■つくす自分。</p> <p>・ベトナムとのGLOBAL TAKENT &amp; BUSINESS MEETUPを充実させ、エールファンを増やす。</p> <p>・ボランティアワークを増やし地域のエール</p>	<p>■なりたい自分</p> <p>・東大・京大・阪大7名合格</p> <p>・国公立72名合格</p> <p>・上場会社4名就職</p> <p>国ビ国コミ</p> <p>・N1 7% N2 47.1% N3 37.8%</p> <p>応用日本語</p> <p>・EJU受験者 27.1%</p> <p>・JLPT受験者 27.8%</p> <p>同学科は個人申込のため集計が難しい結果となっている。</p> <p>■つくす自分</p> <p>・GLOBAL TAKENT &amp; BUSINESS MEETUP 4月24日 ZOOM実施。 団体8企業 128社 学校26校 総勢216名参加</p> <p>・ボランティアワーク</p>	<p>■なりたい自分</p> <p>・成果目標の達成では上場会社の成果目標達成が難しく、進学目標は達成に近づいている。このためベトナムのトップ大学との提携で優秀な学生を入れる取り組みを強化する必要がある。</p> <p>・日本語力のアップのためにYPMをフル活用する。</p> <p>・応用日本語学科ではEJU、JLPTの結果追跡と受験率アップを対策を打つ。</p> <p>■つくす自分</p> <p>・ベトナムに向けての活動はコロナ禍でも進めてくれており、いっその充実を進める。</p> <p>・ボランティアワークはコロナの影響でイベントそのものがなく、手の打ちようがなかったが、工夫をして新しいスタイルのワークを進める必要がある。</p>

最終更新日付

2022年7月1日

記載責任者

崎村 真

## 目 次

<b>基準 1 教育理念・目的・育成人材像等</b>	<b>1</b>		
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3		
1-2 学校の特色はなにか	4		
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5		
<b>基準 2 学校運営</b>	<b>6</b>		
2-4 運営方針は定められているか	7		
2-5 事業計画は定められているか	8		
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	9		
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	10		
2-8 意思決定システムは確立されているか	12		
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	13		
<b>基準 3 教育活動---専門課程</b>	<b>14</b>		
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	15		
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	16		
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	17		
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	18		
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	19		
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか			
			20
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか			23
3-17 資格取得の指導体制はあるか			24
<b>基準 4 教育成果---専門課程</b>		<b>25</b>	
4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか			26
4-19 資格取得率の向上が図られているか			27
4-20 退学率の低減が図られているか			28
4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか			29
<b>基準 5 学生支援---専門課程</b>		<b>30</b>	
5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか			31
5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか			32
5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか			33
5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか			34
5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか			35
5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか			36
5-28 保護者と適切に連携しているか			37
5-29 卒業生への支援体制はあるか			38
<b>基準 6 教育環境</b>		<b>39</b>	
6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか			

40		
6-31	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	41
6-32	防災に対する体制は整備されているか	42

**基準 7 学生の募集と受け入れ 44**

7-33	学生募集活動は、適正に行われているか	45
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	46
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	47
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	48

**基準 8 財務 49**

8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	50
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	51
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか	52
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか	53

**基準 9 法令等の遵守 54**

9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	55
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	56
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	57
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	58

**基準 10 社会貢献--本部部分 59**

10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	60
10-46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	62

**基準 10 社会貢献--本部部分 63**

10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	64
10-46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	66

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>第一世代の理念では学園が学校法人としてスタートする1976年に経営理念、教育理念を作成した。</p> <p>経営理念は設置者である長谷川フサの長年の生き様を表した言葉にした。彼女が常に語っていた言葉は「資産の蓄積」「苦勞の蓄積」「信用の蓄積」である。この言葉を活かして経営理念を作成した。それが次の言葉である。</p> <p>経営理念「誠実・情熱・創造」。一方教育理念は当時専務理事であった長谷川恵一が次のような人材を育てたいという想いで理念を掲げた。「哲学者たれ・自己をクリエイトできる人材たれ・大きな視野で世界に羽ばたける人材たれ」</p> <p>続いて1985年に「未来プロジェクト」を発足させ未来のエールの方向性を探り国際化を進めることとなり、外なる国際化として1988年オーストラリア校の設立、内なる国際化として1989年に日本語学校を設立した。</p> <p>第二世代の理念では、学園の風土が国際化しだし、新しい事業理念の構築の検討に入りだし、1994年に超長期計画を策定した。その中心テーマを「高めあえる関係をつくる人材育成事業」とし、2012年まで18年間でこの事業理念を定着させることとした。</p> <p>国際化は特にアジア地域の発展と共に、日本語学校が順調に成長し、学園全体を支えられる部門に発展した。と同時に専門学校での留学生に対する専門教育が定着しこの部門も大きな発展を遂げた。</p> <p>第三世代の理念では、学園の国際化が完全定着した段階で留学生が地域社会と強</p>	<p>第三世代の理念</p> <p>ミッション</p> <p>お互いが共に活かし合い、高めあって生きていけるような共生共創社会を創造できる人材を育成することを使命とする</p> <p>ビジョン</p> <p>学校を取り巻く地域社会の人々と積極的に交わり、地域の人々に自ら奉仕することによって「有難う」という言葉が飛び交う地域づくり学校づくりを目指す</p> <p>バリュー</p> <p>自己実現することによって成長するという価値を大切にする 他者支援することによって成長するという価値を大切にする</p> <p>行動指針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、多くの知識を獲得することによる成長＝知力</li> <li>2、感性（五感）を磨くことによる成長＝感力</li> <li>3、己の行動力を高めることによる成長＝行力</li> <li>4、志を達成することによる成長＝活力</li> <li>5、場の持つエネルギーを活用することによる成長＝場力</li> </ol> <p>各項目の中に4から5項目の内容があるが別紙に掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの理念に沿って人材育成をしている。</li> <li>・これらは年度事業計画に印刷されているのと名刺に印刷されている。</li> <li>・特に行動指針は行動レベルのことが書かれているので分かりやすく、共感しやすい。</li> </ul>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>2017年で創立50年目の節目の年を迎え、この間約10万人の若者が輝かしい未来へと歩いていくのを支えてまいりました。進学教育、職業教育を受けた卒業生は様々な分野のプロフェッショナルとして活躍しています。難波高等経理学院からスタートしたエール学園は、真の国際人を育成するという大きな目標の下で時代の流れを一早く読み取り、社会の要請に応えるため教育理念や指導方法を進化させてきました。本学園が次のステップに進もうとしている今新時代に相応しい第四世代の理念を策定し、より一層優秀な人材の育成に励んでまいります。特に第二世代の理念から第三世代の理念にかけて地域との関係性が豊かになってまいりました。その切掛けは留学生が地域清掃をいただいたことでした。清掃することによって地域の方から「有難う」という言葉がかけられ、それによって留学生のモチベーションが上がるという善循環がはじまりました。まさに日本人との共生の場が生まれてきたのです。このような外国人同士の共生の場が広がれば、世界がきっと平和になると考え留学生を「平和の使者」と名付けました。第四世代のミッションはこのような考え方のもとにつくられました。そしてこれを世界に広げるために50年計画を策定いたしました。</p> <p>■エール学園50年計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2017年～2027年 専門職大学となり、各国のトップ大学と連携</li> <li>●2027年～2037年 日本語ネット教育・ネット試験事業の研究を深め世界一となる</li> <li>●2037年～2047年 エールのメンタリングの研究を深め世界に普及</li> <li>●2047年～2057年</li> </ul>	<p>第四世代の理念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■世界を意識したミッション 国境を越えて学ぶ人々が夢を実現し、「平和の使者」となり世界で活躍できるグローバル人財を育成する</li> <li>■地域を意識したビジョン 学ぶことによって人々が互いに高めあって、多文化共生の地域づくりに貢献する</li> <li>■新価値創造を意識したバリュー 「なりたい自分、つくす自分」という価値を大切にしながら新しい価値を創造する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●バリュー1：「なりたい自分の実践＝与えられた人生の役割に生きる」</li> <li>●目的：与えられた人生の役割に生きるために、自分の強みを把握して意欲を高める</li> <li>●成果目標：学生の与えられた人生の役割を果たすために心から納得できる進路選択ができるようにする</li> <li>●組織の行動指針：行力・知力・感力・活力・場力</li> <li>●バリュー2：「つくす自分の実践＝グローバルな世界で人のために支援できる人財となる」</li> <li>●目的：グローバルな世界で自分の強みを活かして、他者支援できる人財となって意欲を高める</li> <li>●成果目標：グローバルな世界で学園の組織を活かして、顧客との関係を豊かにする</li> <li>●組織の行動指針：行力・知力・感力・活力・場力</li> <li>●各号館になりたい自分つくす自分の実践を通して「留学生は平和の使者となる」メッセージボードを掲げている</li> </ul>

## 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う 理念・目的・育成人材像 などが、明確に定められて いるか	5	明確に定められている	理念目的は年間事業計画と名 刺に明示されており、育成人材 像はホームページや案内書に明 示されている	理念の定着を非常勤講師にも 広げることが課題である。メンター 講座に非常勤講師も参加しだし た	学校案内・名刺・ホームペー ジ・50年計画・長期募集 計画・中期計画・年度事 業計画・案計画・個人目 録
1-1-2 理念・目的・育成 人材像を実現するための 具体的な計画・方法を 持っているか	5	理念の実現のために自己実 現、他者支援の項目をメンタリ ングの考え方を活用して研修を 実施している	例えばビジョンの事例として 地域清掃をカリキュラム化し地域 の方から「有難う」という言葉を 頂いている	理念の実践事例をもっと増やす こと。特に社会貢献型のインター シップを増やすことが、解決に結 びつく	学校案内、ホームページ に理念を掲げ、職員の行動 指針の実例をホームページに 書き込ませる
1-1-3 理念・目的は、時 代の変化に対応し、その 内容を適宜見直されてい るか	5	毎年中期計画を見直す際に理 念目的と照らし合わせている。	見直す時期を毎年10月、1 1月にスケジュール化している	時代が大きく変化するため9年 間の長期経営計画を策定。3 年間の中期計画も策定し、毎	長期経営計画、中期経営 計画
1-1-4 理念・目的・育成 1-1-5 人材像等は、教 職員に周知され、 また学外にも広く	4	本校の理念をメンター思想と呼 び、メンター養成講座を内部、 外部の人を集めて実施している	メンタリングブックを作成し、メン ターの育成教材として活用しだし ている。 理念をホームページにも広く公表	理念の具現化を浸透するために 成果と意欲の尺度で成長を図る YPM 指標の活用をスタートさせ たので、その活用をさらに進める	メンタリングブック（理念 編、実践編、資料編） ホームページ テキストメンター講座

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念目的を抽象的になるのを避けるため、行動指針に落として実効性のあるものにして いる。特に中心の理念であるメンタリングの観点からカリキュラムを毎月検証している。メン タリングは成果性と意欲性を求めるが、これを具体化するためにそれぞれを主観と客 観で診断した YPM 指標の運用をスタートさせた。これにより理念がより具体的に浸透を し始めている。	理念の具体的な方向として、成長を5つの力の観点から常に検証している。 コロナで単年度では制約を受けているが、従来より場力の観点から地域社会との連携を 大切にしているので、学生の地域清掃や学生の駐輪対策は地域からの評価も高い。ま た区役所との連携や自治会との連携も深まり行事に参加する回数や共同事業も増え ている。

\* YPM とは「パフォーマンスとモチベーションを指標化し個人・クラスの

成長を数値化している指標」です。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

1-2 (1/1)

## 1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として 挙げられるものがあるか	5	学生の人生全体を考えたライフ デザインを指導し、その上でキャリ アアップを図っているため、学生た ちの手癖バージョンも高い	ライフデザインを一層深堀するた めに、研修を続けメンター同士で 自主的にパワーポイントで教材作 成を行っている	まだメンタリングを活用した理念 の実践力は先生によってばらつき がある。そのバラツキをなくすため に PC を活用して指導を標準化	メンタリングブック 各種研修テキスト。 メンタリングシステム（コンピ ュータ化）

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念の具体化をメンタリングの手法で実践しているが、学生の人生の着地点を明確にさせながら指導しているため、国公立大学・大学院の合格率は高い。2021 年度はコロナ禍で行動制限の中での進路の模索となった。その中でもオンラインを活用した面接なども活用し、よく成果をだしてくれた。	進学については、本校が独自で分析した進学資料を提供し、自分の方向性とあっているか確認させている。就職ではキャリアデザインを学んだ担当者がついて学生の方向性を大切にした指導をしている。コロナ的环境下でも「混合授業」（オンラインと対面のハイフレックス授業）を実施し、進路相談も積極的にオンラインを活用し、実績につなげている。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	東アジア・東南アジアの学生が、日本の大学・大学院で非常に高い合格実績を示し、就職率でも100%近い実績を長期間維持している	進学系では東大京大阪大、国公立、大学院コースを設け、就職系では、国際ビジネス学科、国際コミュニケーション学科など留学生のニーズに対応したコース設	進学系の東京阪大、国公立大学・の合格率を一層上げること、就職系では100%就職の維持と質の高い企業の開拓	学校案内パンフレット 進学系では大学進学資料。就職系では就職先リスト、インターシップ先リスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
東アジアの学生は母国での就職が難しいため、日本の大学・大学院を目指す傾向が続いている。ベトナムの国家大学・国立大学との提携が推進され、優秀な学生が集まる環境が整いつつあるが、コロナ禍でその提携による優秀な学生が入国できず、提携事業は停滞を余儀なくされている。	少子化対策で無秩序な募集が始まると、国際問題にもなりかねないため、大学と専門学校と日本語学校が協力して留学生の課題解決を進めていかなければならないが、なかなか進まない。アフターコロナに向けて国内外の提携の強化を進める必要がある。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営の基本は、学生の成長を支援するために教職員自身が成長をすることをポイントにおいて学校運営している。そのため教職員の成長の仕組みを個人目標と連動させている。個人目標の最重要テーマに組織の目標を掲げてもらっている。近年アセアンの学生が急増し、日本語力、経費支弁の課題が浮上してきた。今まで漢字圏の学生が中心であったため、漢字圏の学生指導の運営に力を注いできたが、今後は非漢字圏の学生指導の工夫を積み重ねなければならない。そのため JLPT、EJU 模試の開発、予習復習コンテンツの開発と精力的に開発を進めている。また 2020 年度よりはコロナの影響で行動制限があるなかで、オンラインと対面を組み合わせた混合授業を実施し、学びの継続を進めた。緊急の対応から新しい時代の授業形態の模索が始まっている。</p>	<p>長期募集計画書、中期計画書、年度事業計画書、四半期計画書、室年度事業計画書、室四半期計画書、個人年度目標、個人四半期目標をグループウェアに載せて職員全体に公開し、目標の情報共有に務めている。そして四半期ごとに目標の進捗を発表し、年間目標を達成できるような仕組みをつくっている。特に研ぎ澄まされたコンテンツをつくるために進学系では東大・京大・阪大及び国公立大学・大学院の合格者を他校に比べて優れたの合格者を出せるように、就職系では質の高い学生には上場企業への就職を、学園全体としては 100%就職できるように施策を実施している。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	中期計画から四半期目標まで学校の運営方針が示されている。	中期計画から四半期目標まで文書となっている。	その実現レベルがまちまちであり、シナジー効果を上げるところまで進んでいない。解決策としてミッションの共有を図る努力	中期計画、年度本部長計画、室計画、四半期計画 個人目標
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	学校運営方針は、グループウェアに載せられ共有が図られている。特に行動レベルを重視し、評価指標と連動させている	グループウェアに載っている。そして四半期ごとに評価し、賞与、昇格人事に反映させている	他の部署の人の内容をあまり見ない。解決策としてはミッションの共有を図る努力	中期計画、年度本部計画、室計画の冊子をつくって職員に配布するとともに、個人評価表を個人に渡し
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4	運営方針に基づき諸規定はある。	文書とグループウェアに載っている	特に課題は感じていない	就業規則、人事・給与規定、組織図、年間行事予定、各種会議日程、プロジェクト名、成長マップ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針はかなり精度の高いものとなっている。特に中期計画が個人目標まで落とし、ミッションを核としてぶれないで実施してきた意義は大きいものがある。次の目標は、中期計画を中心に展開していった。	外部評価として日振協で毎年行われるアワードで西日本の専門学校中5校が選ばれているが、その中に常に選ばれており、トップの大賞もアワード大賞も4回取っている。これもミッションのレベルの高さと、事業計画がお題目だけでなく、しっかり実行されている証左ともいえる。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	長期計画・中期計画から個人目標まで作られている	グループウェアに掲載している	個人目標まで明示しているが、シナジー効果が出るところまで行かない	長期募集計画、中期計画、年度事業計画、四半期計画、組織図、職務分掌
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	四半期ごとに室四半期計画を発表し次の四半期計画を明示している	四半期ごとに四半期計画の進捗を発表するとともに、グループウェアに掲載し、情報共有を図っている	個人目標と自分のしたいことが必ずしも一致していない。ミッションの理解を進める	中期計画は毎年見直している。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画を毎年個人目標と連動させている。四半期計画は四半期ごとに全室が成果を発表し、関係者が講評すると共に次の四半期の計画を発表する。これによって経営計画を3か月ごとに見直しをすることになる。	ミッション・ビジョン・バリュー・行動指針の共有に努めており、朝礼でも行動指針について意見を述べ合う機会を持つようにして、事業計画の根幹を共有する努力をしている。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	4	組織図は毎年1月発表され4月から実行。	文書としてある	本部長・室長とのコラボレーション。解決策はミッションの言葉としての共有と実践の共有	組織図、行動指針
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	4	理事会・評議会の議事録はとっている。事業計画、予算は理事会・評議会で承認し、長期は常務会で、日堂の運営は本部長	多くのプロジェクトがありその責任も明確になっている。通常の組織で行う業務とプロジェクトで行う業務を分けて効率化を図っている	プロジェクトも成功しているところとそうでないところがある。解決策としてはリーダーの選定	プロジェクト名、リーダー名、会議日程を書いた資料
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	組織の構成員は、役員、本部長、室長、一般職員、講師となっている。責任も明確になっている	職位は組織図に明記され、職務は職務分掌に明記されている	時代の変化が激しいため、組織が毎年のように変わることが課題	グループウェア上に組織図、職務分掌、人事関連資料

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営組織は役員と本部長と室長のコラボが少しずつ前進しており、指揮命令系統も明確になってきている。今後組織をより進化していくためには、ミッションを共有から共鳴そして共進化するところまでもっていかなければならない。	行動指針についての想いを朝礼で職員が発表しており、その内容を各職員は共有している。またデジタルの時代に突入したことを受けて、デジタルトランスフォーメーション（DX）を組織に定着する計画である。そのためシステム部門を舞い込んだプロジェクトを推進し、エール学園の特徴をだすため、学生を「平和の使者にする」という想いを大切にDXを推進している。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	人材の育成について内部では行動指針の発表を通じてミッションの理解を促進し、外部では研修参加で新しい知識の習得に努め	オリエンテーションマニュアル、メンター教育マニュアル（メンタリングブック）は出来ている	ミッションを学内に本当に定着させるには場を整えなければならない。（場力） R.S.運動の定着が課題	メンター教育の各種資料
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	4	人事考課制度はミッション・運営方針と連動している。特に評価と個人目標を連動させており、公平さは保たれていると考えてい	人事考課表がある	課題は室目標と個人目標の整合である。評価表を作成して時間がたつため、ミッションとの整合が取れていないことが明確になり	人事規定
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	4	昇進・昇格制度は人事の規定の中で文書化されている	人事規定	特になし	人事考課表
2-7-12 賃金制度は整備されているか	4	賃金制度は正職員、講師、アルバイトまで整っており評価制度とも連動している	各種評価表	人事評価の在り方と人材育成をより整合させるために評価の成果と意欲の割合を、より意欲に焦点を当てる。	賃金体系

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備されているか	4	採用、不採用、雇用、解雇の基準書はないが、ミッション・ビジョン・バリュー・行動指針に基づいた採用・雇用手順は確立されている。	採用、雇用マニュアルがある	ミッションを理解する人の採用は増えているが、その後のミッションを深堀する施策がまだまだ不十分である。	人事規定
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	3	教員の増減は室単位で把握している。職員の増減は人事部門が把握している。教職員の増減は予算との絡みが多く経理とも	予算を立てる時に教職員の増減は必要	教員の質を上げたいので、人事部門でもレベルをもっと深く把握したい。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事制度、賃金規定は整備されているが、実際の運用には、制度の未整備なところや未成熟な部分を補うのがビジョン・ミッション・バリュー・行動指針だと考えている。それに照らしあうのがベストと考える	室目標評価と個人目標評価をつなげたものになっているのが特徴

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	4	意志決定システムは役員・本部長・室長が担っている	理事会、評議員会、経営会議、本部長会議、募集会議、各種プロジェクト会議で意思決定を行っている	意思決定のスピードを上げる努力をしているが、まだまだ迅速な決定が行われているとはいえない	各種会議一覧
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	4	組織についての文書は特にないが、意思決定システムのポイントは各種会議等で制度化されている。またグループウェアも活用されている	意思決定プロセスは、会議の議事録で明確になっており、議事録作成は徹底できている。	会議は充実しているが、実行レベルが不十分である	会議議事録
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	意思決定の階層・権限等は会議等で明確になっている	各種文書はないが、会議録が意思決定のプロセスを明確にしている	意思決定のプロセスを会議等で分かる状況にしている。本年新卒採用を実行し、エールのミッションに共感を覚える人材を採用	議事録

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
会議体を中心として、意思決定プロセスはが十分機能している。意思決定のプロセスの見える化もされている。	時代の変化と共に意思決定のスピードがもとめられるが、グループウェアの活用は全体の意思決定システムとしてスピードを上げることができる。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	3	基幹システムとして、学校法人会計がベースとなったスクールリーダやICSが存在する。会計と募集システム、教務システムが合	情報システムの概要や構成図はある。根拠は各システムを予算管理や募集情報の共有、出席管理、模擬試験の処理に活用	エールの情報システムの課題は、情報共有が必ずしも成果と連動していない。本年よりメンタリングをシステム化した。活用が課題	基幹システム概要、構成図、メンタリングシステム図

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
基幹システムとグループウェアの活用で情報システム化による業務効率化ははかられているが、今年度より取り組んでいる DX は業務の効率の視点からどのようにイノベーションを起こすかの視点で取り組んでおり、一歩進んだ情報システム化に取り組んでいる。	基幹システム、グループウェアの活用やメールの活用は定着しているが、新情報システムの開発（DX）に着手し、本格的にクラウドコンピューティング時代に対応している

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	崎村 真
--------	-----------	-------	------

## 基準 3 教育活動 専門課程

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門課程は国際ビジネス学科、国際コミュニケーション学科、応用日本語学科の3学科で商業実務専門課程と文化教養専門課程を有するが、学科が多彩で、多様なカリキュラムと科目を抱える。学科ごとの教育目標と育成人材像は明確で概ね業界に必要なレベルの教育を実施している。就職系の学科として国際ビジネス学科、国際コミュニケーション学科の2学科、進学系の学科として応用日本語学科を位置づけ、それぞれ就職実績、進学実績を目標として掲げ、PDCA が回る運営をしている。本校の特徴としてすべてが留学生に特化した学科運営をしていることがあげられる。この特化が教育活動の充実に大きな役割を果たしている。留学生の多国籍化が進み、特に非漢字圏の学生が多数入学するようになり、彼らの日本語力の向上が全学科に共通した課題として抱えている。各学科とも非漢字圏の日本語力向上の科目配置、使用教材、教授法に工夫をこらして運営している状況。授業評価の活動は学科ごとに実施している。特に就職系学科は、職業実践専門課程認定要件を満たす取組により実践的な職業教育を行い、地域産業界との連携で授業評価を取り組んでいる。進学系学科は、従来型の評価を実施している。</p>	<p>■3つの学科と9つのコースを抱えており、コースの対応が多彩。 （国際ビジネス学科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デュアルビジネス（100%就職保証）コース[1年制]</li> <li>・貿易・経営ビジネスコース[2年制] （国際コミュニケーション学科）</li> <li>・サービス・通訳コース【2年制】 （応用日本語学科）</li> <li>・大学院進学コース[1年制]</li> <li>・東大・京大・阪大進学コース[1年制]</li> <li>・国公立大学進学コース[1年制]</li> <li>・有名私立大学進学コース[1年制]</li> <li>・進学日本語コース[1年制/2年制]</li> </ul> <p>■全学科、全クラスに本校独自のメンター制度を導入 本校では、クラス担任をメンターと呼んで、全クラスにメンターを配置。メンタリングという共通の教育手法、指導方法をマスターした人員を配置して、クラスの運営、キャリアデザイン授業、進路指導、生活指導を実施している。</p> <p>■就職系学科の企業インターンシップの充実 就職系学科は、地域貢献型、キャリアアップ型、採用選考型の3種類のインターンシップと100社以上の企業と連携している。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

**3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方	5	正しく方向付けている	各学科の目標や、育成人材像を文書で示し、正しく方向付けている。	特になし	学校案内パンフレット ホームページ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科の教育目標、育成人材像は、業界や社会のニーズに向けてわかりやすい言葉で、できるだけ具体的にしており、正しく方向付けられている。	すべての学科で、互いに高めあえる関係づくりをキーとしたカリキュラム設定となっている。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

**3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に	5	学科毎にカリキュラムを工夫し、充実させるべく取り組みを行っている。	学科内に、コースを設置し、一定レベルへの到達可能なカリキュラムを提供している。	開発した習熟度に関する把握方法の改善を続ける。	学校案内パンフレット コース別カリキュラム

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
それぞれ特徴を持った学科づくりに努めており、コース別に到達するべく、カリキュラムを提供している。 レベルアップや習熟度に関する把握方法として、YPM 評価法を開発し、全学科で実施中している。	インターンシップ制度を取り入れ、その制度より就職につなげるカリキュラム提供を行なっている。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	学科のカリキュラムは、目標達成の為に編成されている。	カリキュラムの編成方針の教育理念・教育目標との関係を示す書類を作成している。	授業担当者を巻き込んだカリキュラム編成会議の実施を検討。	シラバス
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	5	カリキュラムの編成にあたり、教育課程編成委員会等で外部者、卒業生の意見を反映している。	毎年、カリキュラムの編成にあたり、外部や卒業生からの情報を参考に編成している。	カリキュラムをより充実させるべく、体系的に外部や卒業生からの情報を入手する仕組みを強化する	シラバス
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	5	カリキュラムを編成する体制はある。	学科内での役割分担がされている。	コースの多様性に伴うコーディネーターの育成。	役割分担表 講師配置表
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	定期的にかリキュラムの見直しをしている。	レベル＋目的別のカリキュラム設定を行なっている。	学科毎にバラツキがあるのでカリキュラムの見直しの時期については、再度検討する必要がある。	学則

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
それぞれの学科、コースのカリキュラムを編成する体制を持ち、定期的に対応している。	特になし

**3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	各科目は、カリキュラムの中で、適正な位置づけをされている。	コース別、レベル別にカリキュラムが組まれている。	科目設計は適正に行われている。専門科目の設定も強化している	講師アンケート
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	統一された、各科目のシラバス、授業計画を作成している。	講師全体会では分科会を行っている。	科目間の連携を強化する。	シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	シラバスの内容に関する検討会を行い、統一された、授業シラバスを作成している。	統一した各科目の一コマの授業に関するシラバスを作成、提出するようにしている	講師間のばらつきがないよう標準化が必要。	シラバス

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
仕組みではなく、科目担当講師に依存している部分があったが、関連講師とも検討会を重ね、それらを体系的に取りまとめるなどし、講師の教育力向上につなげる努力を行っている。	科目間の連携を意識したカリキュラム設計となっている。

## 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	4	学期末に学生による授業アンケートを全学科統一のフォームにて実施している。	学生による授業評価から得られる情報を改善点の参考に行っている。	問題点を収集し、それを有効に改善に結びつける。	授業アンケート
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価	3	シラバスや授業法について、学科の中でその設計や適否に関して評価をする体制があるが、把握する体制が弱い。	授業アンケート、メンターによる学生面談等で、改善点などの情報を入手するようにしている。	教育力チェックリストにより、状況を把握し、改善する体制を強化する。	授業アンケート

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
評価の実施とその体制はあるが、これを改善につなげるPDCAの体制がやや弱く、評価体制の見直しを行う。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標 に向け授業を行うことができる要件 (専門性・人間性・教授力・ 必要資格等)を備えた教員を	4	学科の育成目標に向け授業を 行うことができる要件を備えた教員 を確保出来ている。	講師採用の際、履歴が把握で きる文書を提出するが、その他の 書類の提出は求めている。	学科の育成目標に向け授業が 行える教員を確保していることが 示せる書類を作成することを検 討する	特になし
3-15-13 教員の専門性 レベルは、業界レベルに十 分対応しているか	4	教員個人の力量は業界レベルに 対応しているが客観視する指標 がない。	評価指標をはかる書類がない。	専門性に関する教育力を向上さ せるべく評価チェックリストを作成 する。	特になし
3-15-14 教員の専門性 を適宜把握し、評価して いるか	3	学生からの評価及び、諸成果か らその教員の専門性を評価して いる。	授業現場における観察をはじ め、多角度からの評価に関する 指標がない。	専門性に関する教育力を向上さ せるべく評価チェックリストを作成 する。	特になし
3-15-15 教員の専門性 を向上させる研修を行っ ているか	3	教員の専門性を高める為、現状 評価に基づいた、改善点に基づ き、研修を行った。	講師の参加可能日時が限られ ている為、100%の参加率で はない。	すべての教員が参加できる専門 性を向上する為の研修を企画 検討する。	特になし

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力 (インストラクションスキル) を適宜把握し、評価して いるか	4	教員が持つ、教授力について評価 制度を設けているが、まだ十分な 評価ができていない。	一部の成果から把握、評価をし ている。	教授力に関する教育力を向上さ せるべく評価チェックリストを作成 する。	授業アンケート
3-15-17 教員の教授力 (インストラクションスキル) を向上させる研修を行っ ているか	4	教員の教授力を向上させる為、 現状評価に基づいた、改善点に ついて、研修を行った。	外部の研修についても案内を行 っている。	すべての教員が参加できる教授 力を向上する為の研修を企画 検討する。	報告書
3-15-18 教員間(非常勤 講師も含めて)で適切に 協業しているか	4	教員間での協業を必要に応じて 行っている。	コース別のミーティングを行い、グ ループワーク、成果発表において 協業を行っている。	コース間でばらつきがある。	特になし
3-15-19 非常勤講師間 で適切に協業しているか	4	非常勤講師間で必要に応じて 協業を行っている。	検定合格科目などを協業にて 行っているが、それを示す書類が ない。	協業の状況にばらつきがある。	特になし

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の 採用基準は明確か	4	学園で定めた採用基準を設けて いる。	採用に関する基準はあるが、その 基準があいまいである。	基準を明確にするべく、項目を 洗い出し、統一化する。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
講師に対するスキルアップ、評価制度、採用基準など明確に定める必要がある。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	学校主導によって、評価基準を定めている。	教員は、学校の基準に従って、成績評価を行っている。	教員の力量によって、評価に差が出ないように、教育力向上研修などの実施。	学則 成績評価基準 成績表
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	5	他の高等教育機関との互換性があることを定めているが明確な基準がない。	転入学や他校への編入学希望者の増加により学則へ追記したが基準が明確ではない。	単位互換に関する判定の基準を設ける。	学則

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価については、学校から基準を示し、その基準によって行われているが、単位互換に関する明確な基準を決める必要がある。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	4	学科、カリキュラムごとに、取得の目標とする検定の目標値を定めている。	合格実績、合格率を示す書類はあるが、全学生の状況が把握されていない状況である。	より正確な状況が把握できる仕組みづくりを検討する。	合格データ
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	目標となる検定の取得をサポートする為、受験に関わる包括的な情報提供等を行い、スムーズに受験できるようにしている。	目的、レベル別でクラス編成を行い、学習者がスムーズに目標を達成できるような内容を提供している。	社会のニーズに適ったカリキュラムの見直しを検討する。	シラバス

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
合格など成果の見える化をより正確なデータと共に行う必要がある。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 基準 4 教育成果 専門課程

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門課程は国際ビジネス学科、国際コミュニケーション学科、応用日本語学科の3学科であるが、共に留学生が中心の学科運営となっている。教育成果は、国際ビジネス学科と国際コミュニケーション学科の二つの学科が、就職を目標としており、応用日本語学科が国内での高等教育機関への進学を目標としている。これまで、就職については、ビザの問題や企業の留学生採用の積極性などの問題を抱えていたが、この問題解決に中心に取り組み、就職希望者への就職100%を目標に掲げ、年度末を超えても就職指導を行い次年度の上半期には100%の達成を目指している。また進学を目標とする応用日本語学科においても大学院進学コース、東京阪進学コース、国立公立大学進学コース、一般私大進学コースとコース別に高い実績を維持している。</p>	<p>専門課程が留学生を対象とした学科運営で、この対象に焦点をあてた対策をとることができ、課題の解決が容易であるのが、現在の特徴である。2013年度以来、就職100%、東京阪・国公立進学№1を目標に高い実績作りに全学をあげて取り組んでいる。</p> <p>2021年度の実績において以下の実績をだしている。</p> <p>就職系学科 就職者人数が157名。</p> <p>進学系学科 国公立大学・大学院合格者 46名。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	就職率の向上を図るべくサポート体制を備えている。	就職率向上の為、教員と就職担当者が連携しサポートを行っている。	「国際人財活用ネットワーク交流会」を国内、ベトナムで開催し、グローバル人財育成に興味がある企業、行政団体、学校関係者と留学生が集まり、留学生が活躍できる環境を整えていく。	過年度実績データ
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	就職先、就職者数、就職率の情報を把握している。	就職に関する情報を教務、就職、その他関連部門に報告、共有されている。	データを活用し、更に有効な就職サポート体制を検討する。	過年度実績データ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
企業との連携、専門分野別など細分化されたデータ分析を行った上、就職対策のサポートプログラムを提供する必要がある。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子
--------	-----------	-------	------

## 4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	4	資格取得率の向上を図るべくカリキュラムを導入している。	カリキュラムを導入することで合格や取得率が向上傾向にある。	エールオリジナル週間テスト実施と分析、学生へのフォロー。カリキュラムと連動し、資格取得率を向上するべくサポート体制を検討	日本留学試験、日本語能力試験及び模試。エールオリジナル週間テストの結果分析表
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	受験状況と把握をしている。	学生へのアンケート調査により把握している。	確実に把握できる体制を検討する。	受験データ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に関する徹底した取り組みを引き続き行い、より多くの受験者並びに取得率向上の工夫を検討する。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が 図られているか	4	退学率の低減を図るべく対応を 行っているが、明確な退学率低 減の目標値を設定の上取り組 んでいる	学内プロジェクト（L プロジェク ト）として退学に至るまでの早期 把握に努める体制を持っている。	明確な退学率低減に向けた取 り組みの強化	学校基本調査 Lプロジェクトの会議資料
4-22-6 入退学者数とそ の推移に関する情報を明 確に把握しているか	4	把握し、書類として保管してい る。	書類として保管し、学生の募 集、生活指導等の参考にしてい る。	学生個別情報の管理強化 長欠者や退学兆候のある学生 に対する指導記録の共有化を 徹底する。	学校基本調査 入管定期報告

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率低減の取り組みは、学校をあげて実施している。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	4	地域社会での支援活動について評価を受けている。	インターンシップなどを通じて参加する活動により評価されている。	卒業生、在校生のコミュニティを活性するプロジェクトを検討する。	特になし
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	3	一部、記述できるが、概ね、記述ができない。	卒業後は、学生が報告に来ることによって状況を把握するなど、受け身な状態である。	卒業生、在校生のコミュニティを活性するプロジェクトを検討する。	特になし
4-21-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	4	イベントへの参加などにより評価されているが、コロナ禍で数が減少した。	外部コンテストに参加する機会を積極的に設けている。	分野ごとでの外部から評価されるイベントへの参加を検討する。	特になし
4-21-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきもの	4	イベントへの参加などにより評価されているが、コロナ禍で数が減少した。	外部コンテストに参加する機会を積極的に設けている。	分野ごとでの外部から評価されるイベントへの参加を検討する。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
在校生、卒業生の業績や社会的活躍について状況の把握をする必要がある。起業した卒業生を中心としたイベントなどを行っている。	特になし

## 基準5 学生支援（専門課程）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援は、就職指導体制、進学指導体制、生活指導体制、各種相談体制に分かれるが、それぞれに専門人材と部署を配置し、特化して整備をしている。生活指導では寮の整備、アルバイトの指導も強化をしている。本校は在校生がすべて留学生であるので、各国語でのサポートと海外の保護者との連携、生活指導を充実させている。</p>	<p>■進路指導体制の充実 本校独自のメンター制度を整備。各クラスにクラス担任となるメンターを配置し、進路指導だけでなく、生活指導も行っている。</p> <p>■各国語のサポートの充実 就職指導、進学指導ともに、きめ細かな指導を充実させるために、中国語話者、ベトナム語話者のメンターを配置している。</p> <p>■アルバイト指導の充実 留学生にとって重要となるアルバイトを紹介するとともに、適正なアルバイトを実施できるような管理体制を取っている。</p> <p>■事故対応、病気対応の充実 留学生全員が24時間のフルサポートの損害保険に加入しており、事故の加害、被害対応、病気入院対応を充実させている。</p> <p>■生活指導の充実 3日間連絡のない欠席が続くと宿舍訪問を実施している。またそれ以上の場合は保護者へ連絡し、連携指導をできる体制を取っている。</p>

### 5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	概ね有効に機能している。	就職相談室をはじめ、有効な求人へのマッチングなどの体制がある。	求人開拓の充実化を図り、学生の選択肢を広げられる取り組みを検討する。	就職データ
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	5	就職に関する説明会、オリエンテーションを就職希望者全員に実施している。	適切な時期に具体的な就職活動、面接や試験対策などを含めた説明会、オリエンテーションを実施している。	就職率を向上させるべく、説明会、オリエンテーションの内容について、再度検討する必要がある。	説明会、オリエンテーション配布資料
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	学生個別面談を実施している。	就職担当者が就職希望者を対象に面談及び、教務担当者との進路面談を実施している。	就職担当者と教務担当者との連携をより一層強化する。	特になし
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	5	就職活動に向けた、指導を実施している。	カリキュラムの中および、就職支援プログラムを活用し、具体的な活動に関する指導を行っている。	カリキュラムに関して、社会のニーズや変化に対応しているか見直しの検討をする。	就職ゼミ、メンタリング、ビジネスマナーなどのシラバス

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
---------	--------------------

進路指導、支援体制は年々充実させつつ、社会情勢の変化などを敏感に察知し、より最新の情報を提供できる場づくりに努める。	特になし
--	------

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

5-23 (1/1)

**5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	学生相談に関する体制は整備され、ほぼ有効に機能している。	全学生に対するクラスごとのメンター（担任）を配置し、学習面、生活面、進路相談を受けられる体制を整えている	専門性を有する相談事項の外部協力者と連携しサポート体制を強化する。	面談記録（WEBポータル）メンタリングシステム
5-23-6 学生相談室を開設しているか	4	学生相談の為の部屋を有している。	他の用途を踏まえた部屋にて学生相談を行っている。	教室、校舎の有効利用と共に、プライバシーを尊重し、安心して相談できる場創りについて検討する。	特になし
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	4	学生の相談に応じる専用のメンター制度を取り入れている。	学生の進路や生活面、人間関係などについて相談に応じるスタッフがいます。	よりきめ細かい相談対応ができるメンター育成及び外部との協力体制の構築が必要。	特になし
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	5	上記に記した同様の状況、環境にて対応をしている。	上記に記した同様の状況、環境にて対応をしている。	上記に記した同様の内容を検討する。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各分野の専門家との連携の必要性が増している。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

5-24 (1/1)

**5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	5	状況に応じて、学生の経済的側面に対する支援を行っている。	特待、奨学生制度などを導入している。	授業料の分割制度など、学生本位な納付方法について、検討する必要がある。	募集要項
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	5	奨学金制度を整備し、機能させている。	JASSOの奨学金制度	特になし	奨学生制度案内
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	学費分納制度は概ね有効に機能している。	学生の経済的負担を軽減できる分納制度を導入した。	特になし	募集要項

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
---------	--------------------

学生の経済的側面に対する支援や状況を把握する体制を整え、勉学に集中できるよう努める。	コロナ禍による学生の経済的困窮を支援するため、学生に応じた分納制度を実施した。
--	---

<b>最終更新日付</b>	2022年7月1日	<b>記載責任者</b>	豫城聖子・田中雅彦
---------------	-----------	--------------	-----------

## 5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	健康面への支援体制がある。	定期的な健康診断の実施と共に、結果に基づく、相談を受付けている。	特になし	健康診断実施関係書類
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	5	学生の健康管理を担う専用の組織体制がある。	学生の健康管理を担う体制を活用している。	より充実した体制の強化。	面談記録。スクールリーダー
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	4	健康相談などに専門に応じる医師がいる。	校医を配置している。	特になし	学則

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期健診以外での健康管理に関する取り組みについて検討する必要がある。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能している。	4	課外活動に対する支援体制を整備しつつあり、有効に機能している。	地域、国際をテーマにボランティア活動に積極的に参加する体制を整えつつある。	全体的に定着できるよう、地域や団体との意見交換など行い更なる充実を図る。	ボランティア活動参加資料 実施時のビデオ、写真

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
課外での活動に関して、より多くの選択肢を提供する取り組みを外部組織と協力し行う。	コロナ禍によりボランティアなど課外活動、外部イベントは中止となった。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	学生寮、生活環境への支援を行っている。	学校の寮、提携宿舎、学生のニーズに合う紹介を行っている。	学校の体制に関する満足度を把握し、改善の有無など検討する。	学校案内パンフレット

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
寮や宿舎サービスに対する学生満足度を把握し、改善する体制が必要である。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に 連携しているか	4	必要に応じて、保護者と連携し ている。	生活面、学業面で懸念される事 象が発生した際、保護者へ連絡 を取っている。	問題のある学生だけにとどまら ず、全学生に対して情報交換で きる方法を検討する。	保護者宛資料

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
在籍状況など、保護者と連携し学生をサポートする仕組みづくりについて、確立させる必要がある。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	2	活発な活動を行っていない	同窓会など組織化されていない。	卒業生の同窓会の組織化をはじめ、支援体制が始まった。	特になし
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	3	フォローアップ体制が整備されている。	卒業生への証明書発行などの対応を行っている。	卒業後も学校と交流が持てる環境整備について、検討する。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会の組織化に向けて本格的に動き出した。広報誌を発行した。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 基準 6 教育環境（学校全体）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>■全教室に最新の ICT 設備を導入（みらいスクールステーション）し、教育効果の向上を目的とした設備の導入も十分達成できている。</p> <p>■定期的なメンテナンス、修繕計画も立案し年度ごとに計画的に実施している。避難訓練、消防計画の実施、防災への取り組みも先進的に実施している。</p> <p>■学外実習、インターンシップについては小項目の点検のように十分に整備し機能している。</p>	<p>■ICT 設備の全教室配備を実施。</p> <p>■施設・設備の定期的な修繕計画の立案 施設・設備は年度ごとに計画を立てて実施している。</p> <p>■就職系学科の企業インターンシップの充実 就職系学科は、地域貢献型、キャリアアップ型、採用選考型の 3 種類のインターンシップと 100 社以上の企業と連携している。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------



<b>6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b>
--

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	施設・設備は、教育上、必要性に対応できるよう整備されている。	一部の授業を除き、学習に専念できる環境を整備している。	より、学習に専念できる環境となるようなクラス編成を検討する。	教室配置図
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	4	施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能している。	日次的な点検を行い、劣化に備えメンテナンスを行っている。	特になし	点検報告書
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	4	施設・設備の更新に関する計画を計画通りに更新している。	組織変更などに伴う、変更事項を適時更新している。	特になし	報告書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日次的なメンテナンスや点検を行っている。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

<b>6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</b>
--

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備している。	5	短期、長期を問わず、外部の引き受け機関と連携し、体制と環境を整備している。	学科ごとに教育効果の上がる実習、インターンシップを引き受けている。	学科や内容によっては、希望者のみとしており、外部団体との連携体制の強化を図る。	インターンシップ概要
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認している。	5	実習、インターンシップへ参加した場合は、その実績を把握し、教育効果を確認している。	参加した学生から報告書及び、レポートを提出される。	より、教育効果が出るまた、確認できるしくみについて、検討する。	報告書、レポート

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科やコースの学習内容と実習、インターンシップの内容がより密着した内容にて導入できるよう、また今以上に、就職につながる多くの業界、業種の企業開拓が必要である。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子
--------	-----------	-------	------

## 6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	防災に対する体制を整備し、有効に機能させている。	定期的な訓練及び、緊急時の対応について体制を整えている。	特になし	防災訓練実施要綱
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	5	災害を起こす可能性のある設備・機器の情報や災害発生時の対応について情報を伝えてい	防災に関する計画は対応マニュアルを作成している。	特になし	防災訓練実施要綱
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	5	実習時等の事故防止の体制を整備している。	避難経路、火災報知機、消火器などの整備を行っている。	特になし	防災訓練実施要綱
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	災害が起きた場合に備えた保険に加入している。	入学時に全学生を対象に、保険に加入している。	特になし	保険加入の案内書類

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	4	防災訓練を不定期に実施している。	年間カリキュラムの関係により地域の消防署の協力のもと不定期にだが全学科の学生を対象に	定期的に実施できる様、年間カリキュラムの改善を検討する。	防災訓練実施要綱

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に関する意識付けを強化する。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	豫城聖子・田中雅彦
--------	-----------	-------	-----------

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校のミッション・ビジョン・バリューについては、ホームページ、パンフレットを通じて本校に入学を希望している学生に周知徹底している。学外への広報は主にホームページを通じて行っており、今後も内容の充実を図っていく。</p> <p>留学生の募集では特に海外のエージェント、国内の日本語学校と信頼関係を強化し、質の高い学生募集を行っている。特に海外では上海事務所、韓国事務所、ベトナム事務所を設置して、きめの細かい入学説明、入学選考を実施するなど、募集・受け入れに関しては、選考基準、入学試験を実施し、厳正な募集を実施している。就職系学科、進学系学科ともに、進路先に合わせたコースの設計がされており、きめ細かな受け入れ態勢を実現している。近年は質の高い学生の確保の施策として、奨学金制度（学費の割引）とレベルの高い大学との提携を進めている。</p> <p>海外からの留学生受け入れについては出入国在留管理庁の審査もあるため、本校の選考基準、入学試験だけでなく、上記審査をクリアし、交付された者が海外から留学できるシステムになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■レベルの高い留学生の受け入れの推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外のトップレベルの大学との提携の推進。ベトナムのハノイ貿易大学、ハノイ大学、ホーチミン人文社会科学大学など。</li> <li>・国別の事情に合わせた優秀な学生の奨学金制度（学費の割引）の実施。</li> </ul> </li> <li>■留学生の在籍管理において一貫して法務省出入国在留管理庁より「在籍管理適性校」の認定を受けている。</li> </ul>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	鈴木俊和
--------	-----------	-------	------

## 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	適正に行われている。	理念・目的をホームページ、パンフレットに明確に明記し、厳正な選考基準、入学試験で募集活動を行っている。	特になし	学校ホームページ 学校案内パンフレット 募集要項
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	多言語表記し、便宜を図っている。	留学生募集にあたっては、日本語だけでなく多言語での募集を行っている。	すべての言語に対応できるわけではないので、優先順位をつけ、ニーズの高い多言語表記にする。	学校ホームページ 学校案内パンフレット
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4	体制がある。	専門の部署があり、志望者等の問い合わせ・相談に多言語で対応している。	あらゆる国籍の人に対応できるわけではないので、他部署の支援も得ながら、多言語対応をしている。	学校ホームページ
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	各学科とも定員充足が進んでいる。	入学者数	学科の改編により希望者のニーズに合わせた学科づくりを行う。	ない。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>募集・受け入れ体制については、募集要項・選考基準等で明確にしており、周知の面ではほぼ十分だと言える。</p> <p>留学生を多数受け入れていることから、ありとあらゆる外国人にエールの募集要項をわかりやすく説明する仕組みが必要である。</p>	<p>各学科とも募集定員を満たす募集活動となっており、現在優秀な学生確保に重点を置いた募集活動を実施している。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	鈴木俊和
--------	-----------	-------	------

## 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝	4	正確に伝えられている。	学校案内パンフレットやホームページに実績を掲載し、入学希望者に周知している。	特になし	学校ホームページ 学校案内パンフレット
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っている	3	持っている。	志願者の入学動機調査を実施している。	認識の根拠はあるが、より実績を伝える工夫が必要。	ない

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の進学実績や就職実績等の教育成果は、学校案内パンフレットやホームページ、チラシにて正確に伝えられている。	留学生は口コミ力が高く、この口コミへの情報の提供が工夫のいるところ。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	鈴木俊和
--------	-----------	-------	------

## 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	適正かつ公平な基準に基づき行われている。	選考基準に基づいて、書類審査・入学試験により公平な基準でもって行っている。	留学生の入学を希望する学生に関しては、出入国在留管理庁の審査方針に沿う必要がある。	学校案内パンフレット 募集要項 ホームページ
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	ほぼ正確に把握している。	グループウェアを活用し、各学科の入学選考に関する情報と推移を把握している。	全学科とも合格通知後のキャンセルも多数あり、漏れなく正確に把握し、共有を図る。	

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は根幹をなす部分であるので、適正かつ公平な基準に基づいて行っており、厳格に実施している。海外からの入学選考に関する推移も随時現地試験情報を共有し、判定を迅速に下している。	留学生の入学選考にあたって、不法残留者を多数発生させている国については、特に厳格な選考基準を設け、質の高い学生確保に努めている。また語学力について厳正に審査する必要がある、その対応をしている。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	鈴木俊和
--------	-----------	-------	------

## 7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	妥当なものとなっている。	人間力を高め、学生の人生を支援する教育内容に妥当な学納金である。	留学生を多数受け入れていることから、国際的な経済状況、為替状況によって負担感が変わリ やまい	学校案内パンフレット 募集要項 ホームページ
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	正確に把握している	業務上当然の知識として学納金に関する情報を正確に把握している。	特になし	学校案内パンフレット 募集要項 ホームページ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金に関しては、非常に敏感な部分であるので内訳、金額、支払い期日など多言語でわかりやすく示している。	特殊な事情としては、海外からの留学生を多数受け入れているため為替レートの変動により、学費の負担感が大きく変わることである。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	鈴木俊和
--------	-----------	-------	------

## 基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>10年前までは長期低落傾向にあって、財務体質を悪化させていたが、ここ10年は黒字を続けている。そのため財務状況が大きく改善されている。2018年度において負債ゼロを達成。</p> <p>今後の課題としてはすでに施設設備の満杯の学生数となっており、施設の拡充と定員増を長期的な政策と進め、2025年度までの長期計画が立案をされている。</p> <p>現在2024年に新専門学校を計画中である。</p>	<p>2000年ごろから財務体質の改善が進み、以前ほど大きな収支差額は出せなくなったが毎年安定的に黒字を進めている。</p> <p>2015年より連続7年間と連続して学生数が増加し、1000名を超え、2021年は11月現在で1441名。おおむね定員充足の状況となり、大きな収支差額を生み出すようになった。7年連続での収支差額10%超えが続き、次年度もこの基調であるので、健全な財務体質が実現したことに合わせ、将来への大規模設備投資、教育投資の準備も円滑に進んでいる。</p> <p>2020年・2021年は新型コロナウイルスの影響で入国出来ない学生や入学時期の変更が発生し、学生数の減少を余儀なくされたが、学園全体としては収入減を最小限に抑えることが出来、コロナ禍ではあるが予算を上回る収支額、黒字で終わることが出来た。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------



## 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	2015年～2020年の連続の大幅黒字の達成により、借金ゼロの財務基盤となった。	6年連続の収支差額10%超えの達成。	新校舎の増築を計画中。	財務諸表全般
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	月次決算を行っているのと、四半期ごとに財務諸表を出し、銀行にも提出している この習慣は20年ほど続いている	3月末に予算書を作成し、9月末に下期予算修正を行い、これを30年以上続けている。	資金の把握としては留学生の未収金の管理が重要である。	財務諸表全般 多くの管理会計資料がある

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園の本科生事業が上向きになっており、本科事業を中心とした収益構造になってきており、中期的に黒字体質の財務状況となっている。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	創立50周年に合わせて新たな長期計画、中期計画、年度計画を立案して、予算もこれを円滑に推進している	学生の募集定員も目標達成と予算管理の目標達成。	学生の学納金の円滑な回収。未収金対策の実施。	中期計画書 年度事業計画書 四半期事業計画報告書 年間予算実績対比表
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	月次決算と四半期予算修正により予算は計画的に執行されている。	5期連続の黒字の決算の実施。	将来の大規模設備改修、教育投資の準備。	入学資料 月次予算実績対比表 予想実績対比資金繰表 四半期貸借対照表

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生30万人計画の順調な推移と本校の順調な学生募集が継続しており、高い収支差額を目標として予算を立案し、それを達成する状況にある。	2015年の留学生数1010名。2016年の留学生数1210名。2017年は1300名超、2018年は1400名超を達成。2019年は1500名超を達成。2020年は1475名。2021年は1441名。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	決算における監査は、適切に行われている。	会計監査人による監査を行っている。監事にも監査をお願いしている。	特になし	決算資料
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	会計監査の責任体制、会計監査の実施スケジュールは適切に行われている。	監事は本校の内容に精通しており、年3回ほど細かい内容まで監査されている	定期的に監事に監査をお願いしているが、もう少し回数を増やすほうがいい。	監査実施スケジュール

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
月次決算、四半期ごとの予算修正、年次決算と予算管理はシステムが安定している。 また経理人材も安定している。	特になし

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	学校関係者評価に合わせて財務情報は公開している。	ホームページにおける学校情報の開示。	特になし。	財務諸表
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	学校法人会計に合わせた財務情報を公開している。	同上	特になし。	財務諸表

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報公開は、学校法人会計の基準に基づいた諸表を決算後の公開している。	毎年決算終了後に財務情報をホームページに公開している。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>① 督官庁の大阪府教育庁私学・大学課、法務省出入国在留管理庁が定める規定・基準に沿った学校運営を行っている。</p> <p>② 個人情報については、その取り扱いに全職員が細心の注意を払いまたその旨も当校ホームページ上でも公開し明確化している。</p> <p>③ 自己点検・自己評価は、学校関係者評価を実施し、より透明性の高い評価を実施し、学校の改善に努めている。第3者評価を早期に実施する計画立案が課題となっている。</p> <p>④ 情報公開は、財務状況、自己点検・自己評価、学校関係者評価を公開している。</p> <p>⑤ 教職員の労務関係も法令に基づいて就業規則等を整備している。2016年度以降は常用労働者数が50名以上となり、産業医の設置など法令に基づいて設置をし、ストレスチェックにも取り組んでいる。</p>	<p>■ 本校が留学生に特化した専門学校として留学生の在籍管理には特に注意を払って学校運営をしており、一貫して「在籍管理適性校」の認定を法務省出入国在留管理庁より受けている。</p> <p>■ 近年の「働き方改革」の方針に合わせて、教職員の労働環境の改善に努めている。</p> <p>■ 大阪市「女性活躍リーディングカンパニー認証」</p> <p>2020年11月1日に大阪市より『女性活躍リーディングカンパニー』に認証された。</p> <p>■ 大阪府「男女いきいき・元気宣言事業者登録」</p> <p>2020年12月10日大阪府の『男女いきいき・元気宣言事業者』として登録されました。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校 設置基準等が遵守され、 適正な運営がなされてい るか	5	監督官庁の大阪府私学課の基 準に基づいた学則編成を行い、 準拠した運営を行っている。	課題と思われる時には、私学課 と相談しながら、法令や設置基 準を確認している。	留学生の在籍管理には継続的 に重点施策として実施する。	学則 出入国在留管理庁の告示
9-41-2 法令や専修学校 設置基準等の遵守に関 して、教職員・学生等に 対する啓発活動を実施し	5	全学を上げて、留学生の在籍管 理の健全な運営に努めている。 また留学生の法順守の啓発も 力を入れている。	在籍管理の適性校としての認 定。	上記と同じ。	上記と同じ。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設置基準や法令順守という観点ではクリアしていると考えられる。当面は本校が留學生に特化した専門学校として、国の留學生受入れ施策、入国管理施策と関係法令の遵守、特に在籍管理には十分な注意が必要である。また、今後の留學生送り出し国の経済の発展に伴う顧客サービスの向上要望には積極的に対応が必要である。	同左

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための	4	在校生と過年度学生のデータについて、帳票類には、鍵のかかる部屋に保管し、また電子データは権限付与者のみ利用できる	鍵付の部屋のロッカーへの保管と権限付与者の明確化	毎年膨れる過年度生のデータの整理と保管及び電子データの保管年限の整備	指導要録 入学願書 成績・出席状況表 卒業台帳
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	当学園ホームページにも記載し、広く個人情報に関して啓蒙している。	個人情報管理規定に準拠を明示している。	新入職員や新入生（特に留学生）に個人情報保護の重要性を伝える機会を設ける。	個人情報管理規定

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護の重要性については、その対策や啓発活動から判断して、十分だといえる。	個人情報の管理規定もホームページを通して、広く一般に公開されており、あとは留学生の出身国と日本とで個人情報の扱いや認識に大きな違いがある場合は、日本のルールを理解させていく必要がある。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	4	自己点検・自己評価の実施は定着してきており、学校関係者評価へと継続する形が完成している	自己点検・自己評価、学校関係者評価の情報開示。	学校関係者からの指摘事項の改善に努める。	自己点検・自己評価報告書、学校関係者評価報告書
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	4	自己点検・自己評価は外部関係者評価へと制度をアップしており、数年先の第3者評価を準備している	自己点検・自己評価及び学校関係者評価の関連資料等の精度のアップ	第3者評価の準備。	自己点検・自己評価報告書、学校関係者評価報告書
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	伝わっている。	自己点検・自己評価及び学校関係者評価の継続実施。	自己点検・自己評価、学校関係者評価の意味を職員へ周知する。	自己点検・自己評価報告書、学校関係者評価報告書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「自己点検・自己評価」に関して、学園として本格的に取り組みだしている。2015年度より学校関係者評価を実施するなど、将来の第3者評価の準備が進んでいる。	特になし。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	公開している。	ホームページ。	特になし。	自己点検・自己評価報告書、学校関係者評価報告書
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	ホームページへの公開の方針が確立されている。	ホームページ	特になし。	自己点検・自己評価報告書、学校関係者評価報告書
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	伝わっている。	ホームページ掲載までのルーチンが確立されている	関連資料等の公開の範囲についての改善が必要。	自己点検・自己評価報告書、学校関係者評価報告書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「自己点検・自己評価」に関して、学園として本格的に取り組みだしている。2015年度より学校関係者評価を予定するなど、将来の第三者評価の準備が進んでいる。	「自己点検・自己評価」「学校関係者評価」がほぼ定着した時点で「第三者評価」へも対応していきたい。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 基準 10 社会貢献（本部部分）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>エール学園は 2017 年に創立 50 周年を迎え、これに合わせてこれまでのミッション・ビジョン・行動指針を発展させ、新しい学園理念を打ち出すに至っている。この中で「地域を意識したビジョン」で「学ぶことによって人々が互いに高めあって、多文化共生の地域づくりに貢献する学園となる」ことを内外に宣言した。これまでも地域貢献は学園の教職員・学生全体で取り組み、地域との共生に努力をしてきたが、これからはより積極的な位置付けで、「多文化共生社会」実現のリーダーシップを取っていく。</p>	<p>① 当校は海外からの留学生が多く在籍しているので、各種団体からの通訳・翻訳の要請に対して積極的な協力をしている。また、小学校の外国人児童の支援にも協力している。地域交流の一環として学校周辺道路の清掃や、不法駐輪自転車の整理も実施している。</p> <p>② 留学生のインターンシップとして「地域貢献型インターンシップ」を授業の一環で実施しており、多彩な地域貢献を実施している。このインターンシップが地域の多文化共生の事業の推進役となっている。</p> <p>③ 津波災害時に、近隣住民の緊急避難場所として提供することを申し出て、浪速区役所より「浪速区防災協力事業所」の認定を受けている。</p> <p>2020・2021 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響でボランティア活動、地域貢献型インターンシップのほとんどが中止となった。</p> <p>2022 年は新たな形を模索中である。</p> <p>難波中公園の月 2 回の清掃活動は継続中である。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	3	区役所、町内会への貢献活動、留学生就職促進のための地域産業の連携を強化している	各種町内会活動への参加。大阪府、市の活動への参加。企業連携ネットワークの活動。	より積極的な地域の多文化共生の取組の推進。 2020年はコロナ禍で活動が制限された	イベント時の写真
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	5	大阪商工会議所との連携でパソコン講座などを実施。留学生の地域貢献インターンシップの実施など	・通訳翻訳科の留学生がボランティアで通訳翻訳をしている。 ・小学校の外国人児童への支援など	留学生 1000名の学校としての地域の多文化共生の取組の推進。	パンフレットなど。
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	5	地域に開かれた学校の評価を地域自治会から信頼をされている。また社会貢献活動企業への学校施設の提供を心掛けてい	国際交流祭へ地域住民を及びするなど地域の方へ開放した専門学校作りをしている。またユネスコなどの活動へ教室をお貸しし	現状において課題はないと考えている。	実施イベント等
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	5	海外のトップ大学との教育協定を推進している。また積極的に海外の使節の学校訪問を受け入れている。	ベトナムトップ大学であるハノイ貿易大学、ハノイ大学、ホーチミン人文社会科学大学との協定を進めている。	ベトナムで進めている施策を他国へも広める。	協定書 招聘状

\* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	5	監督官庁関係と連携を取りながら、防犯・保健・在留管理等の適切な対応と情報伝達を行っている。	大阪府私学課・大阪出入国在留管理局・大阪府警国際捜査課・浪速区役所等との人的つながりがある。	学生の法令順守と防犯という観点で、特に留学生に対して自国との違いと国内における社会問題を理解させる工夫をしたい。	入管定期報告書 「適正校」通知書 放置自転車指導マニュアル
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	4	区政会議に参加するなど地域との連携で重要な社会問題への取り組みを実施している。 上町台地の歴史的価値の啓発活動、大阪ミナミの活性化に精力的に取り組んでいる。	区政会議への参加。 上町台地の歴史的シンポジウム、ミナミ活性化委員会の月2回の活動など。	重要な社会問題が、緊急的に発生した際に迅速な対応や措置がとれる体制作りをより強化したい。 引き続き上町台地やミナミの人々と連携を強めたい。	区政会議の議事録 上町台地のシンポジウム資料 ミナミ活性化の活動記録

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
エール学園は留学生が1400名を超え、全国で有数の留学生受入れの専門学校となっており、内外の注目を集めるようになってきている。エール学園は創立より地域との共生を掲げており、今後はより積極的な役割を果たすことが求められている。	留学生の不法滞在や不法就労なども大きな社会問題となっているが、当校では、その予備軍（長期欠席者等）に対して、事前の対策を検討実施しており、出入国在留管理庁からも「適正校」としての通知を受け取っている。 長くまちづくりを実施してきたため、エールは地域の方々から応援をいただいている。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	5	地域の清掃活動や落書き消し・夏祭り等の行事・繁華街における外国人観光客への通訳等の場 <small>に学生を参加させている</small>	地域清掃や大阪水上バス・戎橋商店街・大阪コンベンション協会の通訳業務の実施	地域の多文化共生の実現に向けたより積極的な取り組みの推進。	活動時の写真
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	5	学園を通しての依頼内容については、逐次状況把握並びに学生から情報を収集している。	担当教職員による状況の把握に努めている。	より積極的に活動状況を広報したい。	活動時の写真

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園の「なりたい自分、つくす自分」という方向性に沿って、学生のボランティアへの積極的な取組姿勢と学校側の協力・支援体制がうかがえる。	中央区・浪速区内においては、区役所・商店街・各種団体からの協力要請に対して、全面的に協力し官民互いに良好なる関係を築いていると思う。

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 基準 10 社会貢献（教育現場部分）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>エール学園は 2017 年に創立 50 周年を迎え、これに合わせてこれまでのミッション・ビジョン・行動指針を発展させ、新しい学園理念を打ち出すに至っている。この中で「地域を意識したビジョン」で「学ぶことによって人々が互いに高めあって、多文化共生の地域づくりに貢献する学園となる」ことを内外に宣言した。これまでも地域貢献は学園の教職員・学生全体で取り組み、地域との共生に努力をしてきたが、これからはより積極的な位置付けで、「多文化共生社会」実現のリーダーシップを取っていく。</p>	<p>①当校は海外からの留学生が多く在籍しているため、各種団体からの通訳・翻訳の要請に対して積極的な協力をしている。また、小学校の外国人児童の支援にも協力している。地域交流の一環として学校周辺道路の清掃や、不法駐輪自転車の整理も実施している。</p> <p>②留学生のインターンシップとして「地域貢献型インターンシップ」を授業の一環で実施しており、多彩な地域貢献を実施している。このインターンシップが地域の多文化共生の事業の推進役となっている。</p> <p>③津波災害時に、近隣住民の緊急避難場所として提供することを申し出て、浪速区役所より「浪速区防災協力事業所」の認定を受けている。</p> <p>2020・2021 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響でボランティア活動、地域貢献型インターンシップはほとんどが中止となった。 2022 年は新たな形を模索中である。</p>

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	広く教育機関、企業・団体、地域との連携や交流を図る取り組みを行っている。	すべての学科で他との連携したプロジェクトを導入している。	より多くの団体との連携が図れるよう学科の内容を広報するなどし、理念に賛同する団体を開拓をすすめる	特になし
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	4	本科で培ったノウハウを活かした附帯教育事業を、行っている。	パソコン講座を大阪商工会議とタイアップして実施。	特になし	附帯教育案内
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と一部、連携している。	外部団体の活動の場として、通常授業のない時に提供している。	特になし	特になし
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	4	東アジアの教育機関と連携し、学生の受け入れを行っている。	聴講生制度を整備し、相互の教育効果をあげるべく受け入れを行っている。	提携校を増やす	提携書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	4	重要な社会問題について、大専各の留学生委員会へ参画の上、啓蒙活動を行っている。	環境問題に関するリサイクルをはじめ、学生が巻き込まれる可能性のある犯罪に関する情報や予防策について、啓蒙活動を行っている。	企業との連携によりタイムリーな啓蒙活動を検討する。	特になし
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	4	地域活性や環境問題に関する取り組みを行っている。	インバウンドビジネスに関する取り組み、落書消し、廃棄物、ごみ分別、資源再利用に関する取り組みを行っている。	取り組みをより徹底するべく活動について、検討する。	廃棄物管理資料

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地域の活動内容やニーズをより探り、これまで以上に貢献できる内容を提供できるように努める。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------

## 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	5	全校を上げて、ボランティア活動を奨励、支援している。	年間実施の報告書	夜間、日曜日の学生引率が多くなり、一部教職員に荷重がかかっている。	ボランティアについての各種報告書
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	5	ボランティア活動の状況を把握している。	活動内容をレポートなどで報告するようにしている。	特になし	レポート

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全学の職員が本校のミッション「つくす自分」を業務の重要項目として取り組んでおり、学生の活動参加を目標を立てて実施している。	

最終更新日付	2022年7月1日	記載責任者	木田明美
--------	-----------	-------	------